

UTSUNOMIYA 2025

うつのみや

No.
202

令和7年10月29日

あなたと 市議会



発行/宇都宮市議会
〒320-8540
栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号
編集/宇都宮市議会 広報広聴委員会
電話:028-632-2611

WEBでも情報発信中!

HP/ 宇都宮市議会

検索



大谷で出会う 秋のときめき



大谷の奇岩群(亀岩)

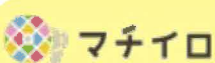


旧大谷公会堂

大谷資料館

あなたと市議会 主な目次

定例会の概要	2
ここがききたい! 一般質問	4
令和6年度決算審査	9
常任委員会の主な審査	10
議会のニュース	12



トチギ
イーブックス



スマートフォンやタブレットでも広報紙を見ることができます



▲過去に実施した「大谷クリスマスマーケット」の様子

令和7年9月定例会を開催

定例会の日程と概要

8月26日

本会議
[開会]

議案の提案理由説明

・市長が補正予算案などの議案を説明

議案・議員案の採決

・保坂栄次議員に対する議員辞職勧告決議(議員案)を可決 ⇒ 12ページ
・教育委員会委員、農業委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の選任を可決

提案

採決

9月3・4・5・8日

本会議
[一般質問]

議員が質問

・21名の議員が議案についての質疑とあわせて、市政全般について質問し、市長などが回答 ⇒ 4~8ページ

質疑

9月10日

常任委員会
(総務、厚生、子ども教育、
環境経済、建設)

議案・陳情の審査

・各常任委員会で所管ごとに詳しい説明を受け、審査
・委員会としての可否を決定 ⇒ 10ページ

審査

9月12・16・17・18・19日

特別委員会
(決算審査、
企業会計決算審査)

決算の審査

・6年度の決算状況について、執行部から詳しい説明を受け、審査
・委員会としての可否を決定 ⇒ 9ページ

審査

9月30日

本会議
[閉会]

議案の訂正と 常任委員会へ再付託

・市長が議案の訂正理由を説明

議案の提案理由説明

議案・陳情・議員案の採決

・常任委員会と特別委員会の委員長が審査結果を報告
・議案・陳情について賛成・反対の討論
・議案・陳情・議員案の可否を決定
・議員派遣を決定

採決

9月30日

常任委員会
(総務)

議案の審査

・再付託された議案(条例案)の訂正内容について、執行部から詳しい説明を受け、審査
・工事請負契約の締結について、執行部から詳しい説明を受け、審査
・委員会としての可否を決定 ⇒ 10ページ

審査

注目の議案

宇都宮市認可外保育施設乳児死亡事件検証委員会条例の制定 ⇒ 10ページ

宇都宮市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び宇都宮市職員の育児休業等に関する条例の一部改正 ⇒ 10ページ

採決結果はこちら



本会議の採決結果

採決結果の表記

・会派の賛否が分かれた案件については議案・陳情・議員案番号を表記
・本会議での態度を賛成・採択は「○」、反対・不採択は「●」、退席は「退」、除斥は「除」と表記
・「※」は賛成6人・退席2人

会派の賛否が分かれた案件

		結果	自民党	市民連合	公明党	清風	共産党	維新	未来	緑	参政党
市長提出議案	【議案第81号】7年度一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	●	○	●	●	●
	【議案第83号】7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	●	○	○	●	●
	【議案第89号】宇都宮市体育施設条例の一部改正 【議案第96号】議決議案の変更(令和5年12月22日議決議案第169号)	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○
	【議案第102号】決算の認定(一般会計及び11件の特別会計)	認定	○	○	○	○	●	○	●	●	○
陳情	【陳情第39号】生活保護に至る前に困窮化予防のための自治体独自の現物給付に関する陳情	不採択	●	○	●	●	○	●	○	○	●
	【陳情第40号】福祉施設に関する陳情	不採択	●	●	●	●	○	●	○	○	●
	【陳情第41号】著作物取扱に関する陳情書	不採択	●	○	●	●	○	○	○	○	○
	【陳情第42号】市街地の活性化に関する陳情 【陳情第43号】宇都宮城址公園に関する陳情 【陳情第44号】八幡山公園100周年活性化に関する陳情	不採択	●	●	●	●	●	○	○	●	●
議員案	【議員案第8号】保坂栄次議員に対する議員辞職勧告決議	可決	○	※	○	○	退	○	除	○	○

討論を行った会派

会派名	議案や陳情ごとの賛否
共産党	◇議案第81号、83号、89号、102号⇒ 反対 ◇陳情第39号⇒ 不採択に反対
参政党	◇議案第81号、83号⇒ 反対
自民党	◇議案第102号⇒ 賛成

市議会ホームページで、生放送と議会中継の録画配信が見られます！
詳しい討論の内容は、下記の二次元コードからご覧ください。



▲詳しくはこちらから



全会一致で決定した案件

		結果
市長提出議案	宇都宮市教育委員会委員の任命(中澤浩平氏) 宇都宮市農業委員会委員の任命(伊藤教子氏) 宇都宮市固定資産評価審査委員会委員の選任(石神知也氏) 7年度特別会計補正予算(介護保険(第1号)、競輪(第1号)) 7年度下水道事業会計補正予算(第1号) 宇都宮市認可外保育施設乳児死亡事件検証委員会条例の制定 条例の一部改正(宇都宮市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び宇都宮市職員の育児休業等に関する条例、宇都宮市税条例及び宇都宮市都市計画税条例、宇都宮市文化財展示施設条例、宇都宮市森林公園条例、宇都宮市自転車駐車場条例) 住民票の写し等の交付等に関する事務の委託に関する規約の廃止に係る協議(宇都宮市と上三川町、宇都宮市と壬生町、宇都宮市と下野市)市道路線の認定及び廃止 財産の取得(災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車、災害対応特殊救急自動車、小型動力ポンプ付積載車) 工事請負契約の締結(今泉小学校屋内運動場改築工事)	可決
	剰余金の処分及び決算の認定(水道事業会計、下水道事業会計)	可決及び認定
	決算の認定(中央卸売市場事業会計)	認定
	人権擁護委員候補者の推薦の諮問に対する答申	可決
議員案		

会派の構成

本市議会には9会派あります。
本紙内では、会派名を()内の略称で表記しています。

・自由民主党議員会(自民党)19人
・市民連合(市民連合)8人
・公明党議員会(公明党)6人
・清風クラブ(清風)3人
・日本共産党宇都宮市議員団(共産党)3人
・うつのみや維新(維新)3人
・未来への架け橋(未来)1人
・緑の地球(緑)1人
・参政党 政治参加を促す会(参政党)1人



◀議員ごとの
賛否はこちら

※「会派」とは、自分たちの意見を効果的に市政に反映させるために、所属政党に限らず、理念を同じくする議員によって作られた団体のことをいいます。

篠崎 圭一
(自民党)質問時間
70分
代表質問

Q

宇都宮ライトレール株式会社の利益剰余金を活用し、ライトライン停留場と接続し、支線として運行するバス路線の一部を担ってもらうことは、ライトラインとの連携による利便性向上につながり、市の財政負担を減らすことにもつながると考える。

さらに、ライトラインと接続するバス路線の増加により、導入効果が市全域に広がり、より多くの市民が公共交通の恩恵を受けることとなり、全市民のためのライトラインという、当初からの目的を達成できると考えるが、市の考えを聞く。

A

市では、NCCの形成に向けて、鉄道、ライトライン、バス、地域内交通が相互に連携した「階層性のある公共交通ネットワーク」の構築を進めており、こうした公共交通ネットワークを将来に渡って持続可能なものとしていくことが重要であると認識している。

剰余金の活用については、宇都宮ライトレール株式会社との調整などの課題があることから、交通事業者や国・県などの関係機関とライトライン駅西側延伸とあわせた「階層性のある公共交通ネットワーク」の構築について検討を進めていくなかで、公共交通ネットワークを持続的に発展させていくための手法などについても、関係する交通事業者と検討していく。

(総合政策部長)

柴田 賢司
(自民党)質問時間
60分

Q

新栃木変電所近傍地へのデータセンターの立地誘導に向けて、どのように取り組むのか。

A

南側エリアの地権者に対して、立地誘導に向けた市の考えなどについて、説明等を行っており、今後は、「地域未来投資促進法」の活用などの検討を進め、年内を目途に事業手法や取組スケジュール等を示していく。(市長)

Q

宇都宮ライトパワー株式会社について聞く。

A

①地域還元事業はどう展開していくのか。
②市の財政を、より直接的に支援できる仕組みの検討を促すべきでは。

A

①7年度は、宇都宮ジャパンカップサイクルロードレースで、CO₂削減に取り組むなど、脱炭素社会や地域経済循環社会の実現に貢献する計画である。また、公共交通の利便性向上に資する取り組みなどを検討していく。

A

②法的な確認を行いながら、新たな方策も含め、検討するよう働きかけていく。(環境部長)

Q

(仮称)大谷スマートインターチェンジの整備による様々な効果をアピールすれば、市全体の活性化などが実現できるのでは。

A

利用による直接的な効果などに加え、来訪者の増加に伴う経済波及効果など、間接的な効果を可能な限り数値化し、分かりやすく示せるよう、「(仮称)ライトライン事業における宇都宮モデルの事業評価」を参考にしながら、専門家の意見も伺い検討していく。(建設部長)

福田 智恵
(市民連合)質問時間
50分
代表質問

Q

困難を抱える女性への、福祉・教育・雇用などを横断的に連携させた支援に対する課題を検討する推進チームの設置について聞く。

A

市では、3年度から「つながりサポート女性支援事業」にて相談支援を強化している。また、6年度には、関係機関と「困難な問題を抱える女性への支援調整会議」を設置するとともに、「エールU」などと連携し、重層的な支援を行っている。引き続き、現行の体制で支援を着実にやっていく。(総合政策部長)

Q

身寄りのない方への支援が重要性を増している。他市ではガイドラインを策定しているが、市の対応方針は。

A

「エールU」で相談を受け止め、伴走的支援に取り組んでいる。今後、事例を積み上げ、ニーズを類型化する中でガイドラインの作成も検討していく。(保健福祉部長)

秋成 大
(公明党)質問時間
50分
代表質問

Q

飲料自販機を設置し、その収益で防犯カメラの設置・維持管理を行う他自治体の取り組みを市でも採用しては。

A

提案の取り組みは、防犯カメラの設置・管理に係る費用を抑制できるものであり、公園での導入の可能性について検討を進めている。今後、カメラに加え、「ながら見守り」など、

※1 つながりサポート女性支援事業：困難を抱えた女性が安心して自立した生活を送ることができるよう、子育て支援や福祉・教育など、幅広い分野の民間団体などと連携して相談支援を行う事業

※2 エールU：世代・分野を問わず保健と福祉の困りごとを丸ごと受け止め、さまざまなサービスへの橋渡しを担う相談窓口

人の目による見守りをあわせて促進し、地域防犯力のさらなる強化を図っていく。(市長)

地域内交通「細谷・上戸みらい号」の本格導入に向け、どのように支援していくのか。

停留所の新設など、利便性向上に取り組むほか、地区内の小学生と保護者を対象に乗車体験を実施するなど、幅広い年齢層への周知啓発に取り組んでいる。今後は、ニーズの高い医療機関への乗り入れなど、本格導入に向け積極的に取り組んでいく。(総合政策部長)

乗車場と降車場の車線の色分けや、利用マナー向上の周知啓発に取り組んでいる。今後は現在の運用ルールを継続しながら、駐車場利用を促す周知啓発の強化や繁忙期の交通誘導員の配置などを検討していく。(建設部長)



今井 政範
(自民党)

質問時間
40分



JR宇都宮駅東口の乗用車の乗降場について、車の乗降時の安全確保とさらなる利便性向上のための改修が必要と考えるがどうか。

乗車場と降車場の車線の色分けや、利用マナー向上の周知啓発に取り組んでいる。今後は現在の運用ルールを継続しながら、駐車場利用を促す周知啓発の強化や繁忙期の交通誘導員の配置などを検討していく。(建設部長)

JR宇都宮駅西側のバス路線再編事業では、市民の意見を十分に聴取しながら、多くの市民が再編事業の進め方に納得できる形を作り上げて欲しいと考えるがどうか。

これまでも市民との意見交換を重ねてきたが、今後も地域ごとの意見交換会などにより、運行計画案の作成段階においても意見交換を重ね、市民意見を反映した運行計画となるよう取り組んでいく。(総合政策部長)



駒場 昭夫
(市民連合)

質問時間
60分



7月3日の大雨により奈坪川の水が溢れ、床上浸水などの被害が発生した。8月の市と岩曽町地自治会による意見交換では、自治会から申入れが出されたが、今後どのように対応していくのか。

岩曽町周辺の奈坪川は、大雨による溢水被害が度々発生しているが、本格的な河川整備に期間を要することから、今回、地域の方と意見交換を行うこととした。いただいた意見を踏まえ、さらなる被害軽減策の検討を行い、これらの検討状況に加え、奈坪川の整備状況などについても伝えていく。(建設部長)

児童生徒の熱中症対策について、登下校時に地域ぐるみで子どもたちの安全を守ることが目的とする「ごども110番の家」を、熱中症対策の施設としてリスト化し、市公式LINE「教えてミヤリ」などで情報提供してはどうか。

各小中学校において、熱中症などの緊急時に、ためらわずに助けを求めることを指導するとともに、学区内の防犯・安全マップの作成・掲示などの周知徹底を図っている。学区内にある避難施設などを低学年の児童にも分かりやすい手法により伝える必要があることから、引き続き、これらの取り組みを通して、避難する方法の指導や施設の周知に努めていく。(教育委員会事務局長)



菅野 大造
(公明党)

質問時間
40分



粗大ごみの有料収集手続きのさらなるDX化に向けて、新たにキャッシュレス決済も導入すべきと考えるが、市の考えは。

粗大ごみの手数料納付には、取扱店での納付券購入が必要であり、地域行政機関17か所、コンビニなど94店舗で取扱っているが、取扱店がない地区もあるため、利便性向上やオンライン受付の一層の利用促進に向け、キャッシュレス決済の導入を検討していく。(市長)

水道料金などの見直しに当たっては、高齢者や学生等の単身世帯などへの配慮が必要と考えるが、市の考えは。

現在、水道料金等審議会で、学識経験者など様々な分野の方から広く意見をいただきながら議論を進めており、今後は高齢者世帯などへの配慮も検討しながら、料金体系の案を審議会に示していく。(上下水道事業管理者)



平松 明夫
(清風)

質問時間
60分



市は、3年度から4年連続で犬猫の殺処分ゼロを実現しているが、今後も継続していくために、どのような取り組みを進めるのか。

出前講座などによる動物愛護の普及啓発や譲渡先の拡充・公式インスタグラムでの情報発信などの譲渡機会の拡大に努めている。今後も、市民や動物愛護団体などと連携のもと、動物愛護の推進に取り組んでいく。(市長)

Q

小中学校の校舎及び体育館におけるトイレの洋式化の進捗状況と、学校施設全体を視野に入れた今後の整備方針について聞く。

A

9年度末に小中学校の校舎・体育館の洋式化率を100%とする目標を掲げ、6年度末時点で83・5%、7年度末は計画どおりの約88%となる見込み。完了後は、屋外や武道場の洋式化も検討していく。(教育委員会事務局長)

Q

通級指導教室の設置・利用状況や課題は。今後、指導体制の充実をどう進めるのか。

A

5年度までに小中学校15校に22教室を整備したが、保護者の送迎が必要になるなどの課題があり、6年度新たに「通級指導教室サテライト校」を21校に25教室設置した。

今後は、サテライト校の指導回数を増やすなど、児童生徒が安心して指導を受けられる体制整備に取り組むとともに、引き続き、専門的人材の確保や関係機関との連携に努め、特別支援教育の充実に取り組む。(教育長)



福田 久美子
(共産党)

質問時間
30分

代表質問



Q

「まるわかり!日本の防衛はじめての防衛白書2024」の冊子は、小学校から回収し、作成元の防衛省などへ強く抗議すべきでは。

A

掲載内容の多くが、小学校学習指導要領に定められているものではないため、授業などでの活用が想定されないことなどを踏まえ、現時点で、特段の措置は考えていない。

(教育長)



茂木 祐佳里
(維新)

質問時間
70分

代表質問



Q

部活動の地域展開について聞く。

①地域展開の受け皿として期待される総合型地域スポーツクラブについて、運営やガバナンスを強化し、持続可能な受け皿としての機能を発揮できるようにするべきでは。

②生徒の多様なニーズへの対応として、生徒の思いを尊重し、競技志向の活動と、楽しく参加できる活動の双方が共存できる仕組みを整えることが必要では。

A

①クラブの創設や活動への支援、運営体制の強化に取り組んでおり、今後は、新たに先進事例の講習や組織マネジメントに関する研修の実施について検討するなど、運営やガバナンスの強化に取り組む。(魅力創造部長)

Q

高齢者等地域活動支援ポイント事業において、地域課題の解決に直結し、比較的軽微で地域貢献に寄与する、落ち葉清掃などの地域貢献活動を差別化(ポイント拡充)しては。

A

本事業においては、地域で仲間と活動を始めるきっかけづくりや介護予防活動の継続が重要と考えることから、ポイントは等しく付与している。今後も現行の仕組みを継続しながら、事業の周知に取り組む。(保健福祉部長)



山崎 昌子
(自民党)

質問時間
40分



Q

ライトラインの「ゼロカーボントランスポート」の仕組みの周知など、様々な機会を通して、さらなる理解促進に取り組むべきでは。

A

「大阪・関西万博地方創生SDGsフェス」でジオラマを展示し、大変好評を得たところであり、今後、各種イベントでライトラインに供給する再生可能エネルギーの地産地消の仕組みを発信するなど、市民の理解促進に向けた効果的な情報発信に取り組んでいく。(市長)

Q

児童書読み放題パックを学力向上に結び付けるため、学校教育と連携し、読んだ本を学びに生かす仕組みをどのように工夫するのか。

A

児童生徒が一つの作品を同時に読み、感想や意見を述べ合う活動により、思考力や表現力などの育成が期待できることから、今後、指導資料を作成し、授業における活用例を各学校に周知していく。(教育長)



横須賀 咲紀
(市民連合)

質問時間
60分



Q

共創のまちづくりのさらなる発展に向け、共創の理念を市民にわかりやすく伝え、広げる取り組みについて、どのように考えるか。

A

より一層の推進には、共創の意義や活動の分かりやすい説明と、市民に交流・対話により共創が生まれる場面などを直接体感してもらうことが重要と考えるため、今後も、あらゆ

※1 ゼロカーボントランスポート：家庭用太陽光などにより発電された地域由来の再生可能エネルギーで走行すること

※2 児童書読み放題パック：7年7月から宇都宮市電子図書館に導入した、同時に読める人数に制限がない電子書籍で、本を読みたいときに「いつでも・待たずに・何人でも」読書を楽しむことができるコンテンツ

る世代にわかりやすい情報発信や、交流・対話の機会の拡充に取り組む。
(市長)

東京圏在住の市出身者や市に関心のある若者との「ゆるいつながり」を継続的に支える仕組みづくりについて、どのように考えるか。

東京圏在住の市出身者の若者などと継続的な関係を構築することは、市への来訪の動機付けや将来的な移住などにつながるため、今後、関係人口のさらなる創出や拡大を図る取り組みを実施していく。
(魅力創造部長)

就労継続支援B型事業所の安定運営につながる、具体的かつ実効性のある取り組みをどのように進めていくのか。

B型事業所などの製品等を優先的に発注・購入する優先調達の推進に取り組んでいるほか、「わく・わくショップU」の運営など、工賃向上を支援する市独自の取り組みを実施している。今後も、事業所などとさらなる連携・協力を図り、障がい者の働く機会と安定収入の確保に向け取り組む。
(保健福祉部長)



金沢 力
(公明党)

質問時間
40分



Q ライトラインの運転士の確保について、今後どのような対応を考えているのか。

A 7年度、宇都宮ライトレール(株)において、ライトライン施設を活用した地元での運転士資格取得に向けた教育体制が整ったところであり、今後、就活フェアなどを通して社員を積極的に雇用し、自社の教育体制のもと運転士

を確保していくと伺っている。
(建設部長)

Q 給水スポット宮の泉について、より周知を図るとともに、さらなる拡充に向け、多くの方が利用するライトライン・トランジットセンターへの設置を積極的に推進すべきでは。

A 現在実施中の、4か所の宮の泉を巡るキャンペーンなどの取り組みを通じ、さらなる飲用促進を図っていく。トランジットセンターへの設置については、増設する場合、候補地として検討していく。
(上下水道事業管理者)



小室 かな子
(共産党)

質問時間
40分



Q 緊急通報システム事業について、通報機器の貸与に当たり、身体状況などの評価基準が見直されたが、希望する高齢者がいれば利用できるよう、改善が必要と考えるがどうか。

A ひとり暮らしで虚弱な状態にあり、急病のリスクが高い方など、本事業を真に必要としている方に必要な支援ができるよう、現行の仕組みを継続していく。
(保健福祉部長)

Q 自衛官及び自衛官候補生の募集について、自衛隊から住民基本台帳の閲覧申請があった時点で、対象者に知らせ、閲覧されることを希望する方を募ることが本来の形では。

A 募集のための閲覧が「住民基本台帳法」上の閲覧制度や、「個人情報保護に関する法律」の利用及び提供の制限に抵触するものではないと認識しており、現行の手法は問題ないものと考えている。
(市民まちづくり部長)



菅原 一浩
(自民党)

質問時間
40分



Q 敬老会の市負担金の見直しは、今後どのような点に配慮して検討を進めていくのか。

A 地区社会福祉協議会や自治会連合会と意見交換を行っており、意見に十分配慮し、地域の実情に応じた特色ある敬老会の開催が可能となるよう、負担金の対象経費の範囲の見直しと対象者への周知などを検討しており、年内に見直し案を示せるよう取り組む。
(市長)

Q 用地取得が進められず、事業による社会便益が享受できていない「都市計画道路鶴田宝木線整備事業」を確実に推進させるため、今後どのような姿勢で臨んでいくのか。

A 用地交渉に応じていただけない権利者の事業への合意は困難であると判断し、土地収用制度の活用を見据え、現在、準備を進めている。早期の用地取得により、着実な事業完了を目指していく。
(建設部長)



保坂 栄次
(未来)

質問時間
20分



Q ライトラインの利用環境の向上に必要な、①駐輪場などの整備・維持管理費用、②バス路線再編に係る費用、③to t o r a普及に要する費用の6年度支出および7年度予算額は。

A ①3千100万円余、3千900万円余。
②1億4千400万円余、1億3千100万円余。
③1千900万円余、700万円余。
(建設部長)

※1 就労継続支援B型事業所：一般企業での雇用が困難で、雇用契約に基づく就労が困難な障がい者に就労機会を提供し、訓練などを行う場
※2 土地収用制度：土地収用法に基づく手続をとることにより、相応の補償をしたうえで、公共事業に必要な用地を取得することができる制度

出井 昌子
(緑)質問時間
20分

Q 地球沸騰化と災害級の暑さ対策に大きな希望となるよう、大通りとシンボルロードを、豊かな街路樹のある通りに整備しては。

A 公共交通と一体となったまちづくりの進展など、まちと暮らしが変わる転換期を迎えているため、都心部のまちづくりと合わせて沿道と一体となった街路空間の形成を検討する。

(建設部長)

河田 敦史
(参政党)質問時間
20分

Q 国民健康保険について、6年度課税分の収納率及び日本人、外国人それぞれの収納率は。日本人が92・7%、外国人が67・9%であり、外国人の収納率は5年度より減少したが、全体の収納率は92・0%となり、「第2次宇都宮市国民健康保険経営改革プラン」に掲げた目標を達成した。

矢古宇 芳一
(自民党)質問時間
40分

(保健福祉部長)

Q 部活動の地域展開について、教育委員会だけでなく、スポーツ都市推進課などの市長事務部局と連携し、体制を整えていくべきでは。

A 市長事務部局と連携・協力体制を構築しながら、指導者の育成・確保などを、スポーツ・文化芸術団体などに働きかけている。今後も

これらの取り組みを通して、着実に部活動の地域展開を推進していく。

Q 今回の参議院選で初めて投票用紙読取分類機を導入したが、その導入効果と、今後の取り組みについて聞く。

A 読取分類機9台の導入で、開票に要する時間を約1時間40分短縮でき、開票結果を迅速に伝えることができた。今後は、課題の把握や分析を行い、最適な人員体制など、さらなる機器の効果的な活用を図り、正確で迅速な開票事務に努める。

(選挙管理委員会委員長)

手塚 泉
(自民党)質問時間
40分

Q 避難所が遠く避難が困難な方への対応について、峰地区での取り組みのように、近隣の公民館をプレ避難所として位置づけ、避難場所の選択肢を増やすべきでは。

A プレ避難所などの地域を主体とした災害に備える取り組みは、地域住民の安心感につながるとともに、地域防災力の向上に寄与することから、地域のニーズを踏まえながら、必要な支援に取り組んでいく。

(市長)

Q 宇都宮市民生委員児童委員協議会に対する補助額について、経費の増加などの実情を踏まえた増額や支援の拡充を検討する考えは。

A 民生委員の活動の充実を図り、地域社会の福祉増進に寄与することを目的とした事業への支援は、必要なものと考えていることから、引き続き、協議会と意見交換を行いながら、支援の拡充を検討していく。

(保健福祉部長)

岡本 芳明
(自民党)質問時間
60分

Q 全天候型プールの整備について、市長の意気込みは。また、清原地区に整備する可能性、民間発電施設の排熱を利用する可能性は。

A 子どもたちの健全育成や市民の健康増進を図るため、学校利用と市民利用の双方に対応した全天候型プールの整備に取り組んでいく。清原地区への整備は、有力候補地の一つと考えており、排熱利用の可能性については、利用範囲の制約などの課題があることから、候補地の検討を進める中で検討を行う。

(市長)

Q 農業行政について、農業生産の効率化に向けた農地の大区画化についての見解と、行政からの働きかけを今後どう進めるのか聞く。

A 生産性・効率性が高められる農地の大区画化の推進は重要と考える。市では土地改良事業や農業者個人への支援に加え、地域への働きかけを強化しており、今後も支援を通して農地の大区画化を推進していく。(経済部長)

Q 市のイメージアップや受動喫煙防止の強化を図るため、J・R宇都宮駅西口の指定喫煙所に受動喫煙防止施設を設置するなどの対策をすることが望ましいのでは。

A 駅西口周辺は、将来駅前広場の整備が予定されているが、まずは、現在の指定喫煙所において、比較的軽量・低コストで設置可能なパーティションを含め、受動喫煙防止施設の設置を検討する。

(市民まちづくり部長)

令和6年度 決算審査の概要

6年度決算の認定について、決算審査特別委員会及び企業会計決算審査特別委員会を設置し、適正に予算が執行されているか、期待した行政効果が得られているかなどに主眼を置き、審査を行いました。

決算の認定にかかる本会議での意見(討論)

賛成 予算の執行に当たり、各種施策・事業の着実な推進に向け、収納対策の強化による自主財源の確保などに取り組むなど、適正かつ効果的に執行されたと高く評価するため賛成

反対 住民の命と暮らしの防波堤となるべき自治体が、どこまで市民の願いに応えたのかという角度から検討した結果、認定できないという判断になったため反対

決算審査特別委員会

歳入総額

歳出総額

一般会計(歳出)

認定

2,427億1,621万円

2,364億3,764万円

Q 納期限や各種キャッシュレス納付方法について、動画制作・広告を行っているが、納付率の向上など、効果をどのように捉えているか。

A デジタル広告を活用し、案内周知を行った。ユーチューブは各納期限、35万回前後、Instagramは各納期限、月13万回前後の表示がされ、納期内納付率は5年度92.0%から6年度92.4%に0.4ポイント向上し、一定の効果があつたと捉えている。

Q 障がい者支援アプリ「わく・わくアプリU」の現時点での登録者数と利用者からどのような意見が届いているのか。

A 7年8月時点で541名が会員登録しており、利用者からは、障がい者サービスのしおりや事業所の一覧をアプリに掲載したことで見やすくなったとの声や、重度障がい者の方から、新規に手帳を取得する場合の受け取り予約がアプリでできるようになり、非常に便利になったなどの声がある。

Q 「二荒テラス」の利用状況はどの程度か、また、その状況をどう評価しているか。

A 開設してから7月末時点までの利用者は約5万1,700人で、1日当たりで100人から200人にご利用いただくなど、高評価をいただいていると分析している。

Q U@りんくすの利用者数と利用して学校へ復帰した児童・生徒数は、どのくらいか。

A 6年度の最終的な登録者数は、小学生37名、中学生57名、合計94名で、このうち完全復帰は27名、部分的な復帰は38名で、合計65名が学校に復帰できた。



▲若者まちなか活動・交流センター(愛称:二荒テラス)

企業会計決算審査特別委員会

水道事業会計、下水道事業会計
剰余金の処分について

可決

水道事業会計

認定

Q 6年度から「みや水ポータル」が導入されたが、導入により、作業効率などはどのように変わったのか。

A 開栓や休止等の受付業務において窓口は22%ほど手続きが減っており、電話は6%、郵便なども20%程度減っている。

また、検針についても現場で検針員が検針票を発行する手続きがなくなり、円滑に業務が進んでいる。

下水道事業会計

認定

Q 大雨やマンホールの破損により様々な事故が起きているが、マンホールをどのように更新していくのか。

A 6年度は、マンホールの蓋交換を373箇所実施した。

マンホールの蓋については、下水道の改築更新計画に位置付け、約8万箇所のうち、設置から30年を経過した約3万箇所の点検を5年間で予定しており、異常があった箇所から順次、更新していく。

中央卸売市場事業会計

認定

Q 市場内業者の経営健全化のため、「専門家を活用した経営指導」を実施しているが、その実績は。

A 6年度は、青果部全14社のうち経営指導の対象が3社で、前年度の4社から1社減少となった。

また、水産物部も全9社のうち対象が3社で、5年度の4社から1社減少しており、いずれも経営指導の効果が表れているものと考えている。

※U@りんくす: インターネット上の仮想空間(メタバース空間)で、ホームルームや日替わりのライブ配信など、さまざまな活動に参加できる、デジタル適応支援教育のこと。



総務常任委員会

付託案件 9件

宇都宮市認可外保育施設乳児死亡事件検証委員会条例の制定(議案第86号) **可決**

平成26年7月に認可外保育施設といずれにおいて発生した乳児死亡事件について、公正中立かつ客観的な発生要因の分析及び再発防止策の検討を行うため、宇都宮市認可外保育施設乳児死亡事件検証委員会を設置するもの

当初審査で出た意見

- ・ 御遺族の思いに寄り添い、市と関係性のない委員を選任すること、報告書の作成に市が関与しないことを条例に明記して欲しい。

訂正内容

検証委員会の組織体制などをより明確にするため、当初提案の内容から「報告書の作成主体」や「市の事務事業などとの関係性のない委員の選出」などの内容に訂正をするもの

訂正後審査で出た意見

- ・ 関係者の方の心情に配慮し、より丁寧に訂正されたということで、この内容で問題ない。

宇都宮市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び宇都宮市職員の育児休業等に関する条例の一部改正(議案第87号) **可決**

人事院規則の一部改正に準じて、職員の仕事と生活の両立支援を拡充するため、超過勤務の免除の対象となる子の範囲の拡大や、仕事と育児の両立支援制度の利用に関する意向確認、育児部分休業の取得方法の追加等をするもの



厚生常任委員会

付託案件 8件

生活保護に至る前に困窮化予防のための自治体独自の現物給付に関する陳情(陳情第39号) **不採択**

生活保護受給者以外の低所得世帯への物価高騰に対する国の緊急支援施策は十分でなく、自治体独自の現物等給付が求められることから、食品ロスを困窮者支援に活用する自治体独自の現物給付制度の創設など、2項目について陳情する。

審査で出た意見

- ・ 食品ロスを困窮者支援に活用した自治体独自の現物給付制度の創設は望ましく、食品配布と連動したケースワークを行うための社会福祉法人などとの連携を強化することは望ましいことから、この陳情は採択したい。
- ・ 市では、フードドライブで集まった食料物資などの配布や、自立支援相談機関を通じた相談支援、自立へのサポートを行っており、今後も、困窮化予防の取組を着実に推進していく方針であることから、この陳情は不採択としたい。



子ども教育常任委員会

付託案件 1件

著作物取扱に関する陳情書(陳情第41号) **不採択**

著作物の無断転載等による著作権侵害など、児童生徒が無意識のうちに法令違反に関わってしまう危険が増しており、学校教育において著作権教育を体系的に取り入れることなど、4項目について陳情する。

審査で出た意見

- ・ 児童生徒が著作権の基礎知識を学ぶことで、自身が創作者として作品を発表する際の権利や保護についても理解が深まり、創造性や表現力の向上にも繋がると考えており、今後さらなる取組を強化すべきと考えることから採択したい。
- ・ 小中学校ではネット上の著作物の利用に係る内容を取り扱い、教員には、著作権に関する研修を行っていること、また、図書館では、書籍のコピーを行う場合は職員が立会い、著作権の侵害がないよう著作権について利用者に説明しているほか、出前授業を実施し、子どもたちが学ぶ機会を確保していることから、陳情者の願意は達成されていると考えるため、この陳情は不採択としたい。ただし、著作権については、今後とも市民に対して周知啓発を強化していくべきである。



環境経済常任委員会

付託案件 6件

宇都宮市体育施設条例の一部改正(議案第89号) **可決**

市体育館に懇談スペースを新設し、当該施設の使用料及び利用料金の上限額を規定するとともに、河内体育館などの使用料の引き上げ、市弓道場の供用の休止及び現在供用休止中のスケートセンターなどの供用を再開するもの



建設常任委員会

付託案件 7件

宇都宮市自転車駐車場条例の一部改正(議案第92号) **可決**

サイクル・アンド・ライドによる公共交通の更なる利用促進を図るため、ライトラインのゆいの杜西停留場周辺に、新たに自転車駐車場を設置するもの

行政視察報告

各常任委員会(総務、厚生、子ども教育、環境経済、建設)が視察を行いました。
詳しい内容は、添付の二次元コードから市議会ホームページでご覧いただけます。

総務常任委員会 (8月5日～7日)

【視察先・項目】

岩手県盛岡市: 公共施設アセットマネジメント
宮城県仙台市: 仙台MaaS
山形県山形市: 地域公共交通・MaaS



視察の様子→
(山形市)



厚生常任委員会 (7月9日～11日)

【視察先・項目】

福岡県福岡市: 「福岡市認知症フレンドリーセンター」における事業
兵庫県明石市: 認知症あんしんプロジェクト
東京都世田谷区: 梅ヶ丘拠点運営事業



視察の様子→
(明石市)



子ども教育常任委員会 (7月16日～18日)

【視察先・項目】

静岡県静岡市: 部活動から「シズカツ」への移行
大阪府豊中市: 豊中市児童相談所
兵庫県神戸市: 部活動から「コベカツ」への移行



視察の様子→
(静岡市)



環境経済常任委員会 (8月6日～8日)

【視察先・項目】

東京都町田市: ごみ減量対策
兵庫県姫路市: ごみや廃棄物減量を目指した食品ロス削減の取り組み
京都府京都市: 移住・定住促進事業



視察の様子→
(京都市)



建設常任委員会 (8月4日～6日)

【視察先・項目】

大阪府大阪市: 大阪市工業用水道特定運営事業
広島県広島市: 広島駅南口広場の再整備等
静岡県浜松市: 公共下水道終末処理場(西遠処理区)運営事業



視察の様子→
(広島市)



議員研修会を開催しました

9月26日に、株式会社廣瀬行政研究所代表取締役の廣瀬和彦氏を講師に招き、議員研修会を開催しました。

今回は「議員に求められるネットリテラシー」と題し、SNS発信における注意点などについて具体的な事例を紹介いただき、議員からは「公人であることを自覚し、SNSを利用する必要性を再認識できた」などの声があり、大変有意義な研修会となりました。



▲議員研修会の様子



▲講師：廣瀬和彦氏

今回の表紙写真 ～大谷で出会う 秋のときめき～

秋が深まる季節、「大谷」地域は鮮やかな紅葉と心温まる歴史の香りに包まれます。奇岩群や大谷資料館、旧大谷公会堂など市内を巡り、秋を感じてみませんか？



▲大谷の奇岩群(越路岩)



▲宮ゆず

皆様からのご意見、感想をお寄せください

今後の紙面づくりの参考にするため、ご意見やご感想を募集しております。下記の二次元コードからお気軽にお寄せください！



ご意見は
こちらから▶



井上咲楽のサクサク! うつのみや市議会

市議会では、議会の活動を分かりやすく周知するため、とちぎテレビで番組を制作しています。

11月の放送では、井上咲楽さんが「宇都宮のおいしい水」について調査します。ぜひご覧ください!



～前回の放送(女性が活躍できる社会)より～



←前回の
放送は
こちら



<放送スケジュール>

11月20日(木)午後 8時15分～
11月22日(土)午前10時45分～
11月24日(月)午前 7時15分～

とちぎテレビで放送

決 議

保坂栄次議員に対する議員辞職勧告決議

趣 旨 LRTに関するSNSへの投稿において、誹謗中傷と取れる内容などを掲載した行為を審査した倫理委員会の答申を踏まえ、繰り返し議長が指示した謝罪投稿もいまだに行わないなど、自身の行為に端を発する、今回の件に真摯に向き合う姿勢は皆無であり、市民から負託された職責を果たしていくことは困難であると言わざるを得ないことから、再度、自らの意思により議員を辞職するよう強く求めるもの



インターンシップ(大学生の就業体験)



8月4日～8日に大学生2名が、議会事務局でインターンシップ実習を行いました!
実習を通して印象に残ったこと・感じたことを、記事にいただきました!

将来への起点

議会事務局は幅広い仕事をしており、その中で特に印象に残っているのは他の市議会からの行政視察の受け入れ(LRT現地視察)です。

議員、LRT担当職員、議会事務局職員、多くの人と関わったことで、自分の将来について考えることができ、良い経験になったと思います。



▲正副議長と話している様子

街の未来を決める場所

議会事務局が市民と議会を繋ぐ「架け橋」として重要な役割を担うことがわかりました。

また、議会のサポート役である事務局職員は、常に使命感と誠実さが必要だと思いました。

この経験を活かし常に市民の心に寄り添える公務員を目指していきたいです。



▲職員から業務の説明を聞く様子

12月定例会の日程(予定)

月 日	内 容	時 刻
11月 28日(金)	本 会 議 開 会	午前10時
12月 4日(木)	一 般 質 問	//
5日(金)		
8日(月)		
9日(火)		
11日(木)	各 常 任 委 員 会	//
12日(金)		
19日(金)	本 会 議 閉 会	//

※上記日程は変更になる可能性がありますので、ご来場の際は、事前にお問い合わせください。

12月定例会本会議の傍聴について

8年5月下旬まで、議場天井の耐震化工事を実施しています。工事に伴い、12月定例会の本会議は議員協議会室(議会棟5階)で開催します。

●傍聴受付について

- ・本庁舎(執行部棟)5階5A会議室で受付を行います。
- ・傍聴席の定員は、レイアウトの都合上、10人と車椅子席1人分となります。
- ・傍聴席に限りがあるため、会議の開会及び再開予定時刻の10分前時点で定員を超えた場合は抽選を行います。(一般質問日の抽選締切時間は市議会ホームページでご確認ください。)

●開会日・開会日の抽選締切時間について

- ・開会日と閉会日は、両日とも午前10時から本会議が開催される見込みですので、午前9時50分を抽選締切時間といたします。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。▶



あなたと市議会202号の内容に関するお問い合わせ ☎028-632-2611 議会事務局政策調査課